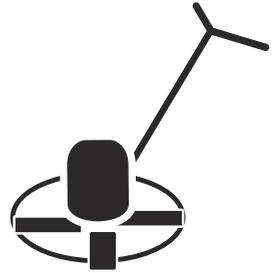


Husqvarna[®]



CT 36A/A-V, CT 48A/A-V

目次

| | | | |
|---------------------|----|------------------|----|
| はじめに..... | 2 | トラブルシューティング..... | 20 |
| 安全性..... | 5 | 搬送、保管、廃棄..... | 22 |
| 組立..... | 9 | 主要諸元..... | 25 |
| Operation (動作)..... | 11 | アクセサリ..... | 30 |
| メンテナンス..... | 15 | 適合宣言..... | 31 |

はじめに

製品の説明

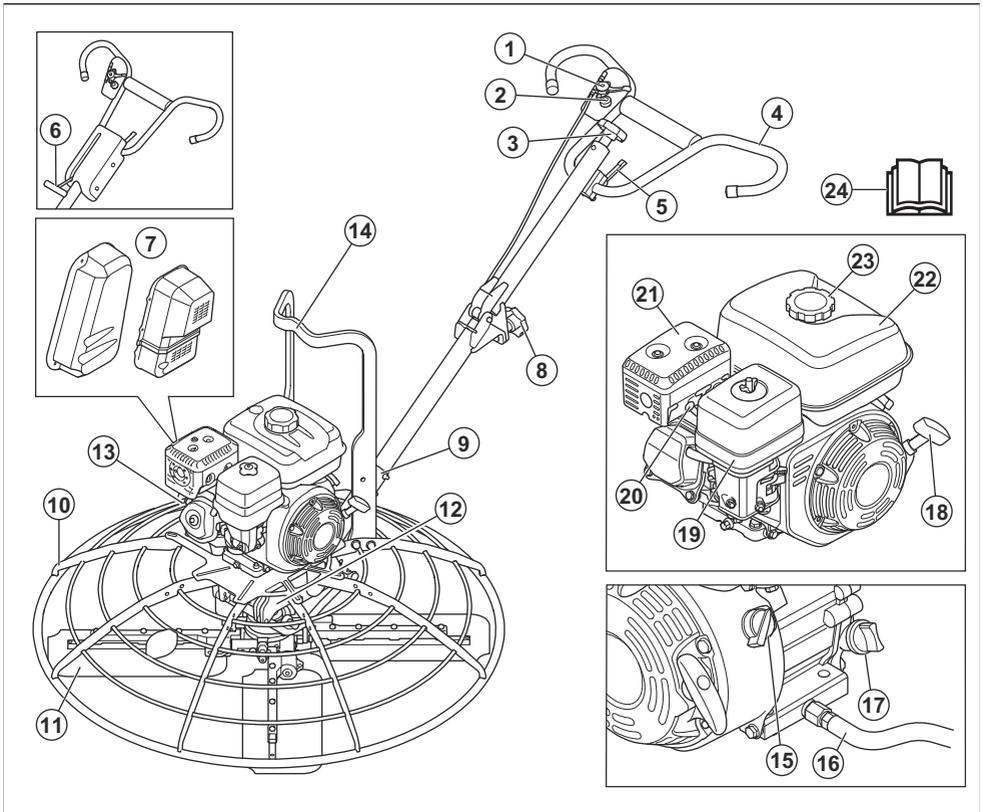
本製品は、コンクリート平滑化機である手押しトロウエルです。ガソリンを燃料として使用し、4 ストローク燃焼エンジンを備えています。

本製品は、オプションのアクセサリフローティングディスクと併用できます。

用途

本製品はプロフェッショナル専用です。本製品は、表面が乾燥しすぎて目的の仕上げが得られなくなる前に、硬化コンクリートのフローティングおよび艶出し作業に使用されます。本製品は、必ず屋外または十分な換気の確保できる場所で使用してください。他の作業に本製品を使用しないでください。

製品の概要



注記： ハンドルとブレードピッチの制御には、次の4種類の組み合わせがあります。T、ADJ-T、ADJ-P、FOLD-ADJ-Tです。本製品のハンドルとブレードピッチの制御については、**主要諸元 25** ページを参照してください。

1. スロットルコントロール
2. エンジンのSTOP（停止）ボタン
3. ブレードピッチノブ（Tモデル）
4. ハンドル
5. ハンドル高さ調整レバー（ADJモデル）
6. ブレードピッチ調整用 Pro-Shift® レバー（Pモデル）
7. ベルトカバー
8. ハンドルのロックノブ（折りたたみ式モデル）
9. ハンドルホルダ
10. 保護リング
11. ブレード
12. 銘板（CE）
13. 銘板（北米）
14. リフトポイント
15. エンジン ON/OFF スイッチ
16. 排油ホース
17. オイルタンクキャップおよびオイルレベルゲージ
18. スターターロープハンドル
19. エアフィルターカバー
20. スパークプラグ
21. マフラー
22. 燃料タンク
23. 燃料タンクキャップ
24. 取扱説明書

製品に表記されるシンボルマーク



警告！本製品の使用は危険を伴います。操作者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。十分に注意し、本製品を正しく使用してください。



本取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。



安全ヘルメット、防護メガネ、イヤマフを着用してください。



安全靴を着用してください。



保護グローブを着用してください。



警告！本製品に火花や炎を近づけないでください。火災を起こす危険性があります。



リフトポイントです。



燃料を充填する前はエンジンを停止してください。



清潔でろ過された燃料を使用してください。



警告！負傷のおそれがあります。駆動ベルト周辺には注意してください。



警告！高温の表面。



警告！ブレードに手を近づけないでください。



警告！ブレードに足を近づけないでください。



警告！本製品を持ち上げる前に、フローティングディスクを取り外してください。



警告！エンジンの排気ガスには、無臭で有毒な危険性の高いガスである一酸化炭素が含まれます。屋内または閉鎖された空間で運転しないでください。



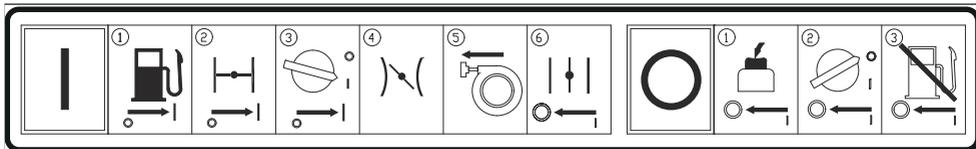
STOP エンジン停止ボタンです。

CE 本製品は EC 指令に適合しています。

**UK
CA** この製品は該当する UK 規制に準拠しています。

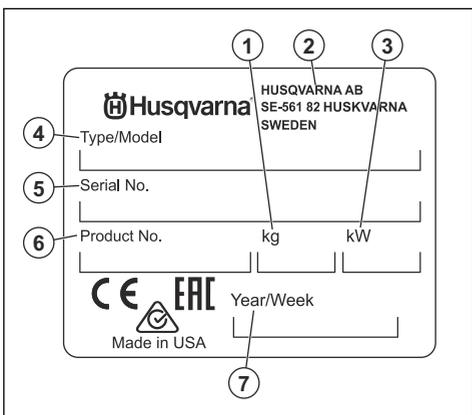
注記： 本製品に付いている他のシンボル/ステッカーはそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

始動方法説明ラベル



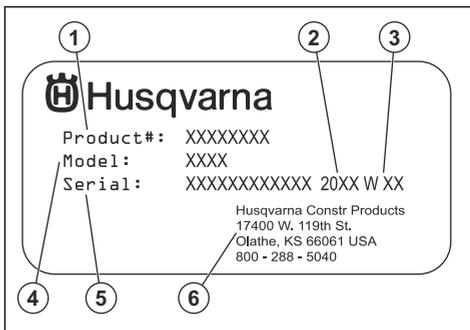
参照：本製品の始動方法 12 ページ詳細については。

銘板 (CE)



1. 製品重量
2. メーカー
3. 定格電力
4. 製品タイプ
5. 製造番号
6. 製品番号
7. 製造年と週

銘板 (北米)



1. 製品番号
2. 製造年
3. 製造週
4. モデルと製品タイプ
5. 製造番号
6. メーカー

製造物責任

製造物責任法に基づき、当社は、次の場合については本製品を原因とする損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリ、またはメーカーの認可していないアクセサリを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定機関で本製品が修理されていない場合。

安全性

操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 緊急時にエンジンをすばやく停止する方法を必ず確認してください。
- 作業者は、本製品を安全に操作するために必要な体力を持っている必要があります。
- 本製品を操作する前に、保護カバーをすべて取り付ける必要があります。
- 身体保護具を使用してください。参照：プロテクティブ装具 7 ページ。
- 生コンクリートは化学熱傷の原因になることがあります。防護服を着用して作業を行ってください。生コンクリートが皮膚に付着した場合は、ただちに取り除いてください。
- 作業エリアに許可なく人が立ち入らないようにしてください。
- 作業エリアは清潔で明るい状態に保ってください。
- 必ず安全で安定した姿勢で作業してください。
- 作業者および製品が高いところから落下する危険がないことを確認してください。
- ハンドルにグリースやオイルが付着していないことを確認します。
- 火災や爆発が発生する可能性のある場所では、本製品を使用しないでください。
- 本製品の使用中は、物体が高速で飛び出すことがあります。作業エリアのすべての人が、認可された身体保護具を使用していることを確認してください。固定されていないものを作業エリアから取り除いてください。
- 本製品から離れる前に、エンジンを停止し、誤って始動する危険がないことを確認してください。
- 衣服、長い髪、宝飾品が可動部に巻き込まれないようにしてください。
- ブレードに手や足を近づけないでください。
- 本製品の上に座らないでください。
- 本製品を叩かないでください。
- 常に両手でハンドルを持って後部から本製品を操作してください。
- 電気ケーブルの近くで本製品を操作しないでください。本製品には電気絶縁性がなく、怪我や死亡の原因となる場合があります。
- 本製品を操作する前に、作業エリアに隠れているワイヤー、ケーブル、およびパイプがないか確認してください。見えにくい異物に本製品が衝突した場合は、直ちにエンジンを停止し、本製品と異物を調べてください。続行しても安全であることがわかるまで、本製品の操作を再開しないでください。

安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品は、慎重かつ適切に使用しないと、危険な道具となります。本製品により、作業者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。本機を使用する前に、本取扱説明書をよく読んで、その内容を理解してください。
- すべての警告および説明を保管してください。
- 適用されるすべての法令を遵守してください。
- 作業者および作業者の雇用主は、本製品の運転中に発生するリスクを認識し、防止する必要があります。
- 取扱説明書を読んで内容を理解した人へのみ本製品を運転させてください。
- あらかじめトレーニングを受けていない場合は、本製品を運転しないでください。全作業者がトレーニングを受けていることを確認してください。
- 子供に本製品を運転させないでください。
- 許可された人のみが本製品を運転してください。
- 作業者は、他の人またはその所有物に発生した事故に責任を負います。
- 疲労時、疾病時、アルコールや医薬品の影響が残っているときは、本製品を使用しないでください。
- 常に常識に基づいて注意して使用してください。
- 本製品では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、ある条件下でアクティブ、またはパッシブな医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻な重傷や死亡の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している方は、本製品を運転する前に主治医および医療用インプラントの製造元に相談することをお勧めします。
- 本製品は清潔に保ってください。標識やラベルがはっきりと読み取れるようにしてください。

- 損傷している場合は、本製品を使用しないでください。
- 本製品を改造しないでください。
- 他の人が本製品に変更を加えた可能性がある場合は、本製品を操作しないでください。

振動への安全対策



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品の操作中、本製品から作業者に振動が伝わります。本製品を定期的かつ頻繁に使用すると、作業者の振動に起因する人身傷害のリスクが高まります。人身傷害は、指、手、手首、腕、肩、神経と血液供給、またはその他の身体の部分で発生する可能性があります。人身傷害は、衰弱や永続的な障害となるおそれがあり、数週間、数か月、数年の間に徐々に悪化する可能性があります。可能性がある人身傷害には、血液循環系、神経系、関節、その他の身体構造の損傷が含まれます。
- 症状は、製品の操作中またはそれ以外のときに発生する可能性があります。症状があるときに本製品を操作し続けると、症状の悪化や恒常化につながるおそれがあります。以下の症状またはその他の症状が発生した場合は、医師の診断を受けてください。
 - しびれ、感覚まひ、うずき、ちくちくする痛み、刺すような痛み、やけど、ずきずきする痛み、ぎこちなさ、脱力感、皮膚の変色や状態の変化などがあります。
- 症状は低温で悪化することがあります。低温の環境下で本製品を操作する際は、暖かい衣服を着用し、手を暖かく、乾燥させてください。
- 取扱説明書の説明に従って本製品のメンテナンスおよび操作を行い、適切な振動レベルを維持してください。
- 本製品を優しくガイドして操作してください。本製品に力をかけて押さないでください。本製品のハンドルをしっかり持ち、本製品を制御して安全に操作してください。必要以上にハンドルをエンドストップに押し込まないでください。
- ハンドルのみを掴んで操作してください。
- 強い振動が突然発生した場合は、直ちに本製品を停止してください。振動が増加した原因が解消されるまで、操作を続行しないでください。

粉塵の安全性



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 意図したものと異なる乾燥した表面での作業に本製品を使用すると、空気中のほこりが増加する可能性があります。粉塵を吸い込むと、重大な人身傷害や恒久的な健康障害の原因となるおそれがあります。シリカ粉塵は、複数の機関により有害物質として規制されています。以下は、このような健康障害の例です。

- 慢性、または致命的な肺疾患、慢性気管支炎、珪肺症、肺線維症
- がん
- 出生異常
- 皮膚の炎症

- 適切なプロテクティブ装具を使用して空気中の粉塵や煙を減らし、作業機器、表面、衣服、身体部分の粉塵を低減してください。制御の例としては、集塵システムや水の噴霧による粉塵の吸着などがあります。できる限り、発生する粉塵を減らしてください。装置が正しく設置および使用されていること、定期的なメンテナンスが実施されていることを確認してください。
- 作業エリアに十分な通気があることを確認してください。
- 可能な場合は、粉塵が空气中に放出されない場所に本製品の排気口を向けます。

排気ガスの安全性



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- エンジンの排気ガスには、無臭で有毒な危険性の高いガスである一酸化炭素が含まれます。一酸化炭素を呼吸すると、死亡するおそれがあります。一酸化炭素は無臭で見えないため、感知できません。一酸化炭素中毒の初期症状はめまいですが、十分な量または濃度の一酸化炭素があると、特に密閉された空間や換気が不十分な場所では意識を失う可能性があります。
- 排気ガスには、ベンゼンを含む未燃焼の炭化水素が含まれています。長時間にわたって吸すると、健康障害を引き起こすおそれがあります。
- 目に見えるかまたは臭いがする排気ガスには一酸化炭素も含まれています。
- 室内、または十分な空気の流れのない場所では、燃焼機関を搭載した製品を使用しないでください。
- 排気ガスを吸わないようにしてください。
- 作業エリアの通気が十分であることを確認します。排気ガスが容易に集まる溝などの小さな作業エリアで本製品を操作する場合は、通気が極めて重要です。

騒音の安全性



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 高レベルの騒音に長時間さらされると、騒音により難聴になるおそれがあります。
- 騒音レベルを最小限に抑えるには、取扱説明書の説明に従って本製品をメンテナンスおよび操作してください。
- マフラーに損傷がないことを確認します。マフラーが本製品に適切に取り付けられていることを確認してください。

- 本製品を操作する際は、認可されたイヤマフを着用してください。
- イヤマフの着用中、警告信号や声に気を付けてください。作業エリアの騒音レベルによりイヤマフが必要な場合を除き、本製品を停止した際はイヤマフを取り外してください。

プロテクティブ装具



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品を操作する際は、必ず認可されたプロテクティブ装具を着用してください。プロテクティブ装具で怪我を完全に防止できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、人身傷害の可能性または重症の度合いを軽減できる可能性があります。適切なプロテクティブ装具の選択については、販売店にご相談ください。
- 定期的にプロテクティブ装具の状態を点検してください。
- 認可された防護ヘルメットを着用してください。
- 認可されたイヤマフを着用してください。
- 側面保護付きの認可された防護メガネを着用してください。
- 保護グローブを着用してください。
- つま先部分にスチールキャップが付いた、ノンスリップソールのブーツを着用してください。
- 認可された作業服、または長袖/長ズボンの身体に合った衣服を着用してください。

消火器

- 操作中は常に消火器を近くに置いてください。
- 「ABE」クラスの粉末消火器または「BE」タイプの二酸化炭素消火器を使用します。

本製品の安全装置



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 安全装置が正常に動作していない場合は、本製品を使用しないでください。
- 安全装置は毎日点検してください。安全装置が正常に動作していない、または損傷している場合は、Husqvarna サービス代理店にご連絡ください。
- 安全装置を改造しないでください

一般的な安全装置

- 保護リング、ベルトカバー、リフトポイント、およびハンドルが正しく取り付けられていること、損傷がないことを定期的に点検してください。

エンジン ON/OFF スイッチ

本製品は ON/OFF スイッチを ON に設定している場合のみ始動できます。エンジン ON/OFF スイッチを OFF に設定すると、エンジンが停止します。

エンジン ON/OFF スイッチの点検方法

1. エンジンを始動します。参照：本製品の始動方法 12 ページ。
2. エンジン ON/OFF スイッチを OFF にします。エンジンが停止します。

STOP (停止) ボタン

本製品のエンジンの STOP (停止) ボタンは、右ハンドルのスロットルコントロール隣に配置されています。参照：製品の概要 2 ページ。

STOP (停止) ボタンの点検方法

1. エンジンを始動します。
2. 停止ボタンを押し、モーターが停止することを確認します。

マフラー

マフラーは騒音レベルを低減し、作業者から排気ガスを遠ざけます。

マフラーがない場合や損傷している場合は、本製品を使用しないでください。マフラーがない場合や損傷している場合、騒音レベルの上昇や火災発生のリスクがあります。



警告： 使用中、使用直後およびエンジンがアイドリング速度で稼働しているときはマフラーが高温になります。やけどを防止するため、高温のマフラーに触らないでください。可燃性の材料やガスの近くでは火災に注意してください。火傷を防ぐために保護グローブを使用してください。

マフラーの点検方法

- マフラーを定期的に点検して、正しく取り付けられているか、損傷していないかを確認してください。

ブレードブレーキシステム

ブレードブレーキは次の状況で作動します。

- ギアボックスのインプットシャフトが回転しない。
- ブレードに対する抵抗がない。

ブレードに対して抵抗がある状態でギアボックスのインプットシャフトが回転すると、ブレードブレーキが解除されます。

ブレードブレーキシステムの点検方法

1. エンジンを止めます。参照：本製品の停止方法 15 ページ。

2. ハンドルを左に動かします。ブレードブレーキシステムは正常に作動し、抵抗がなく、ブレードは動きません。
3. ハンドルを右に動かします。ブレードブレーキシステムは正常に作動し、ブレードはかみ合い、抵抗があります。

ジャイロスコープ安全スイッチ

ジャイロスコープ安全スイッチは、本製品の不要な動きを防止し、製品が回転し始めてもハンドルで負傷しないようにします。オペレータがハンドルを放すと、ジャイロスコープ安全スイッチがエンジンを停止します。ブレードのブレーキがかかり、ハンドルが 270° 以上回転する前に停止します。

ジャイロスコープ安全スイッチの点検方法

1. エンジンを始動して、2～3 分間アイドリング速度で運転します。参照：本製品の始動方法 12 ページ。
2. 力を入れてハンドルを右に押します。エンジンが停止します。
 - a) エンジンが停止しない場合は、エンジンが停止するまで何度もハンドルを右に押します。5 回試してもエンジンが停止しない場合は、ジャイロスコープ安全スイッチを修理する必要があります。
 - b) エンジンを停止し、認定 Husqvarna サービスセンターにご連絡ください。参照：本製品の停止方法 15 ページ。



警告： ジャイロスコープ安全スイッチを修理する前に本製品を操作しないでください。

燃料の安全について



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 燃料は可燃性があり、煙は爆発性があります。怪我、火災、爆発を防ぐために燃料に注意してください。
- 気化した燃料を吸い込まないようにしてください。燃料の煙は有害であり、負傷のおそれがあります。空気の流れが十分であることを確認してください。
- エンジンの稼働中は燃料タンクのキャップを外したり、燃料タンクに燃料を充填したりしないでください。
- 燃料の補充は、エンジンが冷えてからにしてください。
- 屋内で燃料を充填しないでください。通気が十分でないと、窒息や一酸化炭素中毒によって負傷や死亡に至ることがあります。
- 燃料やエンジンのそばで喫煙しないでください。
- 燃料やエンジンのそばに熱い物を置かないでください。
- 火花や炎の近くで燃料を充填しないでください。

- 燃料を補充する前に、燃料タンクのキャップを開けて慎重に圧力を解放してください。
- 皮膚に燃料が付着すると負傷するおそれがあります。皮膚に燃料が付着した場合は、石鹸と水を使用して燃料を洗い流してください。
- 衣服に燃料をこぼした場合は、すぐに着替えてください。
- 燃料タンクいっぱいには充填しないでください。高温になると、燃料が膨張します。燃料タンクの上部に余裕を持たせるようにしてください。
- 燃料タンクキャップを完全に締め込んでください。燃料タンクキャップが締め込まれていない場合、火災発生の危険があります。
- 本製品を始動する前に、給油した場所から 3 m/10 フィート以上離れた位置に製品を移動してください。
- 本製品に燃料やエンジンオイルが付着している場合は始動しないでください。エンジンを始動する前に、不要な燃料とエンジンオイルを取り除き、製品を乾燥させてください。
- エンジンに漏れがないかどうかを定期的に点検してください。燃料システムに漏れがある場合、漏れを修復するまでエンジンを始動しないでください。
- 指を使用してエンジンに漏れがないか点検しないでください。
- 燃料は認定された容器に保管してください。
- 本製品と燃料を保管する際は、燃料や燃料の煙による損傷を防止してください。
- 燃料は、屋外にて、品質認証された容器に排出して、火花や炎から遠ざけるようにします。

地面の端付近での操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 端付近で操作すると、本製品が転倒するおそれがあります。必ず製品の 2/3 以上が製品重量を支えることができる安定した面にある状態でお使いください。
- 本製品が落下した場合は、エンジンを停止してから、十分安定した面に戻してください。参照：リフト装置を使用して本製品を持ち上げる方法 23 ページ。

メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

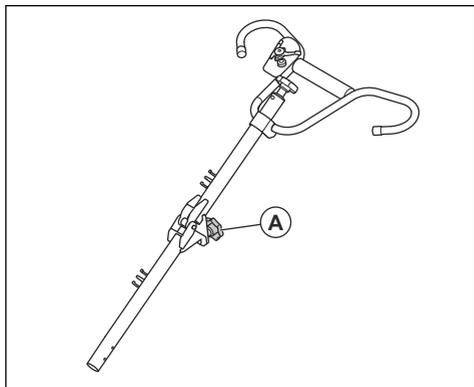
- メンテナンスが正しく定期的には実施されていない場合は、負傷や本製品の損傷の危険性が高まります。
- 身体保護具を使用してください。参照：プロテクティブ装具 7 ページ。
- メンテナンスを行う際は、エンジンを停止し、本製品のすべての部品が冷えていることを確認してから行ってください。
- メンテナンスを行う前に、本製品を清掃し、燃料、オイル、破片を除去してください。

- メンテナンスを行う前に、スパークプラグキャップを外してください。
- 摩耗したブレードは、刃先が鋭利になることがあります。保護グローブを着用し、ブレード周りには注意してください。
- エンジンの排気ガスは高温で火花を含むことがあります。屋内や可燃物の近くでは、本製品を操作しないでください。
- 本製品を改造しないでください。メーカーが認可していない改造は、重傷や死亡事故の原因となるおそれがあります。
- 必ず、純正アクセサリおよび認可されたスペアパーツを使用してください。メーカーが認可していないアクセサリやスペアパーツは、重傷や死亡事故の原因となるおそれがあります。
- 損傷、摩耗、破損した部品は交換してください。
- 本取扱説明書に記載されているメンテナンスのみを実施してください。その他のすべての保守作業は、認定サービスセンターに依頼してください。
- メンテナンス後にエンジンを始動する前に、本製品からすべての工具を取り外してください。回転部品に取り付けられている工具が緩んでいると、飛び出して怪我の原因になるおそれがあります。
- メンテナンス後、本製品の振動レベルを点検してください。振動レベルが正しくない場合は、認定サービスセンターにご連絡ください。
- 認定サービスセンターで定期的に本製品の保守を実施する必要があります。

組立

ハンドルバーの組み立て方法

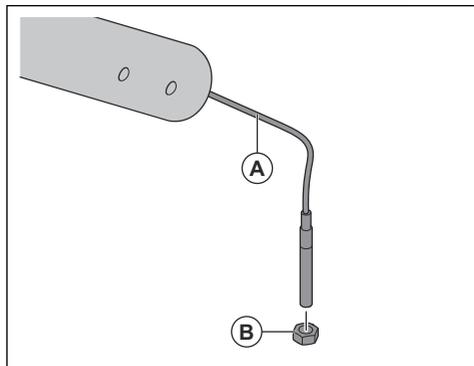
1. CT 36-5A EU FOLD-ADJ-T 上：ハンドルがまっすぐになるまで持ち上げ、ノブ (A) を締め付けます。



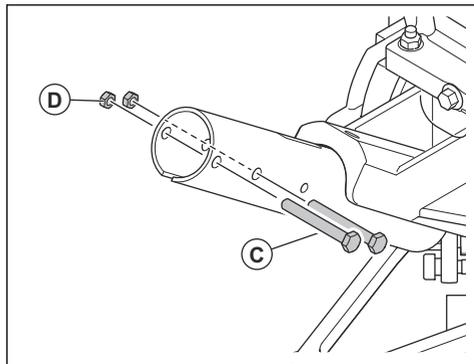
2. ケーブルタイを使ってハンドルバーにワイヤーを取り付けます。

ハンドルの取り付け方法

1. ハンドルの下端からブレードピッチケーブル (A) を引き、ケーブルナット (B) を取り外します。

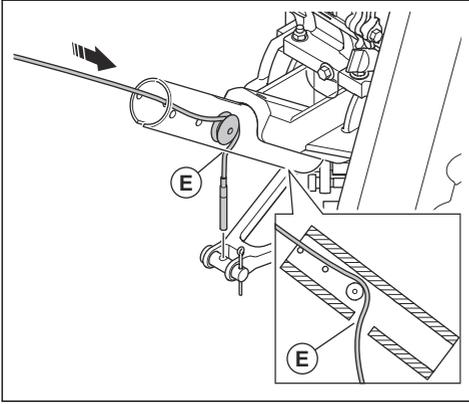


2. ハンドルホルダからボルト 2 本 (C) とナット 2 個 (D) を取り外します。

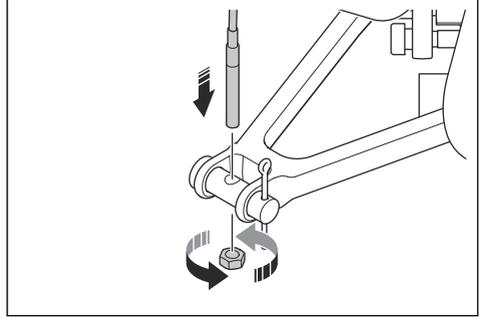


3. ブレードピッチケーブルに注油します。参照：主要諸元 25 ページ。

4. ブレードピッチケーブルをプーリの上に置き、スロット (E) から取り出します。



7. ブレードピッチケーブルをブレードピッチフォークに通します。

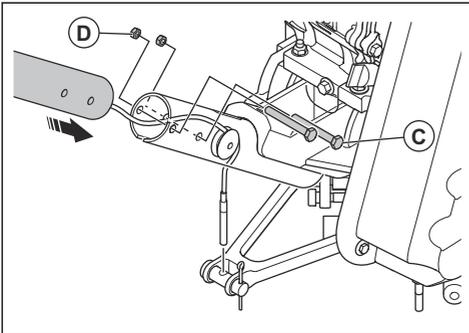


8. ケーブルナットをブレードピッチケーブルに取り付けます。
9. ケーブルナットを調整します。ブレードにピッチがない場合、ブレードピッチケーブルがまっすぐになったら正しく調整されています。

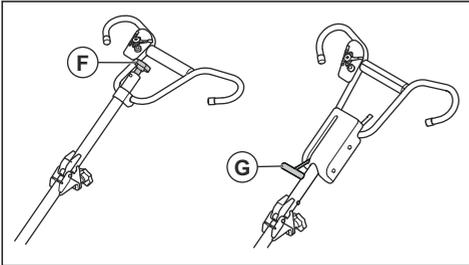


注意: ブレードピッチケーブルがプーリの外側ではなく、溝にあることを確認します。

5. ハンドルをハンドルホルダに入れ、ボルト 2 本 (C) とナット 2 個 (D) を取り付けます。ナットを 24 Nm/18 lb-ft で締め付けます。



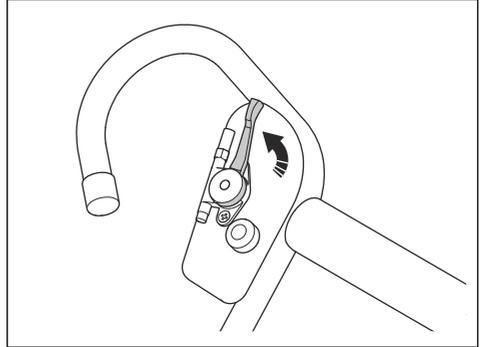
6. ブレードピッチケーブルを緩めます。



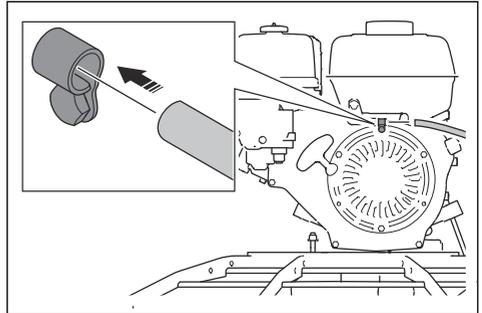
- a) ブレードピッチノブ (F) 付き製品の場合は、ブレードピッチノブを反時計方向にいっぱいまで回します。
b) Pro-Shift® レバー (G) 付き製品の場合は、Pro-Shift® レバーを前方にいっぱいまで押します。

スロットルケーブルの取り付け方法

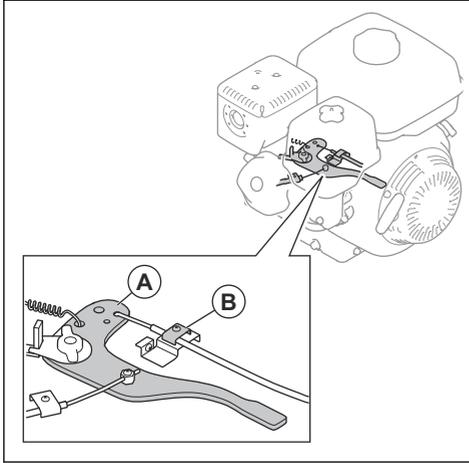
1. スロットルコントロールをアイドリング速度位置に動かします。



2. スロットルケーブルをエンジンのリコイルカバーのクランプに通します。



3. スロットルケーブルの曲がり角をスロットルプレート (A) の穴に通します。

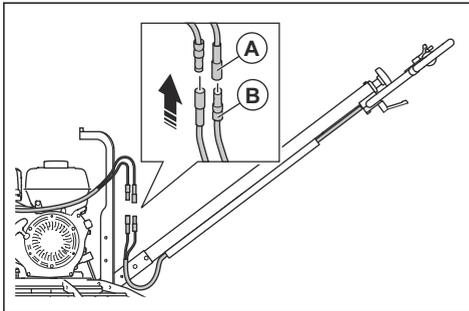


注記： 簡単に手が届くよう、エアフィルターアセンブリを取り外すことができます。

4. スロットルケーブルの上にブラケット (B) を置いている間、スロットルコントロールをアイドリング速度位置に保持します。
5. エアフィルターアセンブリを取り外してあった場合は、取り付けます。

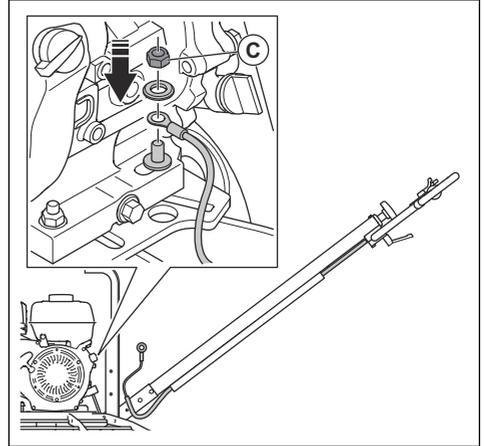
ハンドルからエンジンへのワイヤーの接続方法

1. ハンドルのワイヤー (A) をエンジンの黄色のワイヤー (B) に接続します。



2. ハンドルの緑色のアース線をエンジンの緑色のワイヤーに接続します。

- a) 本製品のエンジンに緑色のワイヤーが取り付けられている場合は、ハンドルに付属している緑色のワイヤーを廃棄します。
- b) 本製品のエンジンに緑色のワイヤーが取り付けられていない場合は、ナット (C) を取り外し、アース線を取り付けて、24 Nm/18 lb-ft でナットを締め付けます。



組み立て後の機能点検方法

1. エンジンを始動します。参照：本製品の始動方法 12 ページ。
2. アイドリング速度とクラッチを点検します。参照：主要諸元 25 ページ正しい値については。
 - a) エンジンがアイドリング速度のときにブレードが回転しないことを確認します。
 - b) エンジン回転数を上げて、ブレードが回転し始めることを確認します。
3. ジャイロスコープ安全スイッチを点検します。参照：ジャイロスコープ安全スイッチの点検方法 8 ページ。

Operation (動作)

はじめに



警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

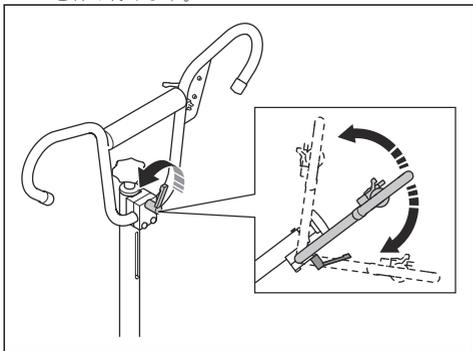
本製品を操作する前の作業

- この取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握してください。
- エンジンメーカーから供給されているエンジンの取扱説明書を読んでください。

- 本製品の安全装置を点検してください。参照：本製品の安全装置 7 ページ。
- 毎日のメンテナンスを実施します。参照：メンテナンスのスケジュール 15 ページ。

ハンドルの高さの調節方法

- ハンドル調整レバーを緩めます。ハンドルを適切な高さになるよう上下に動かして、ハンドル調整レバーを締め付けます。



フローティングディスクの取り付け方法

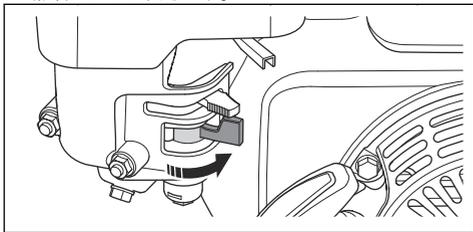
1. フローティングディスクを硬くて平らな面に置きます。
2. 本製品をフローティングディスクの上に置きます。
3. ブレードアセンブリの中心をフローティングディスクの中心に合わせます。
4. ブレードがフローティングディスクのブラケットにはめ込まれるまで、フローティングディスクを回します。



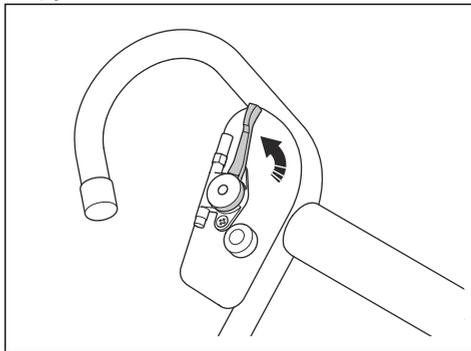
注意：フローティングディスクが正しく取り付けられていることを確認してから、本製品を操作してください。フローティングディスクが正しく取り付けられていないと、スムーズに動作しません。

本製品の始動方法

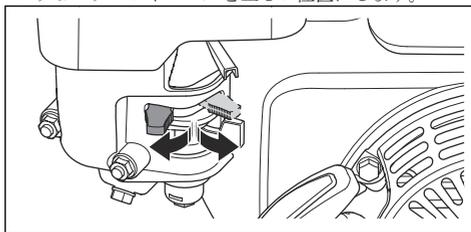
1. 燃料バルブを開きます。



2. スロットルコントロールをアイドリング速度にします。

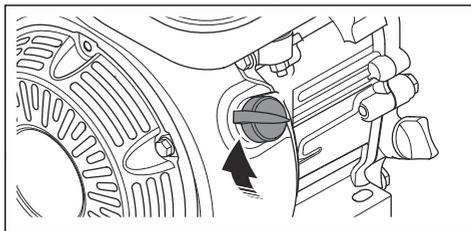


3. チョークコントロールを正しい位置にします。

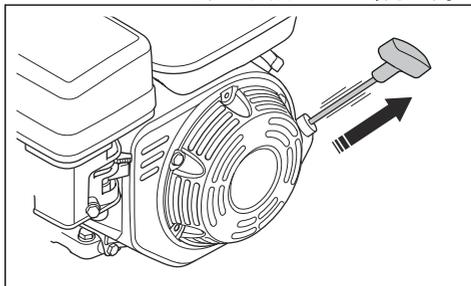


- a) エンジンが冷えている場合、チョークを閉じてください。
- b) エンジンが暖まっている場合、または外気温が高い場合は、チョークを開きます。

4. エンジン ON/OFF スイッチを ON にします。



5. 軽い抵抗を感じるまで、スターターロープハンドルをゆっくりと引きます。抵抗を感じたら、スターターロープハンドルをすばやく力いっぱい引きます。



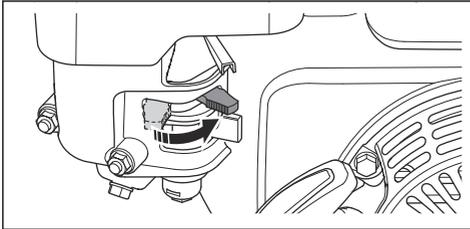
注記： スターターロープを手巻き付けしないでください。

- エンジンの始動するまで、スターターロープハンドルを引いてください。

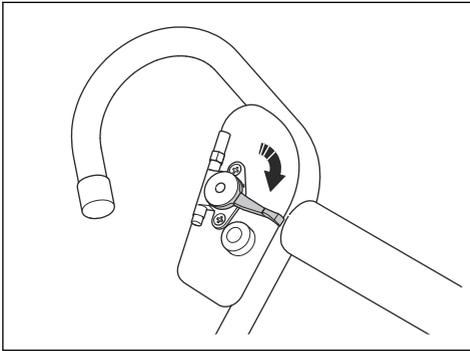


注意： スターターロープを完全に引き出さないでください。また、スターターロープハンドルを放さないでください。スターターロープをゆっくりと放します。これらの指示に従わなかった場合、エンジンが損傷するおそれがあります。

- チョークコントロールを少しずつ開いて全開にしません。



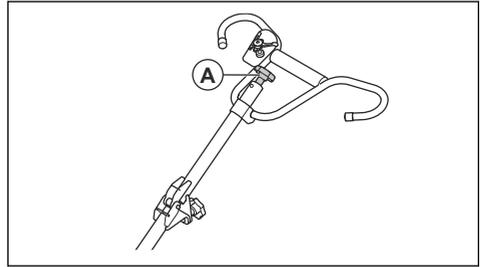
- エンジンをアイドリング速度で2～3分間動作させます。
- 本製品のハンドルを両手でしっかりと持ちます。スロットルコントロールを動かしてエンジン回転数を上げますが、ハンドルは放さないでください。



ブレードピッチの調整方法

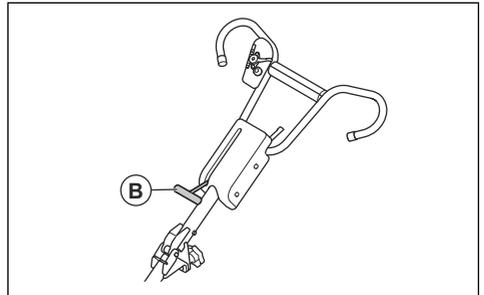
ブレードピッチは徐々に調整されます。

- ブレードピッチノブ (A) 付きの製品の場合：



- ブレードピッチを上げるには、ブレードピッチノブを時計方向に回します。
- ブレードピッチを下げるには、ブレードピッチノブを反時計方向に回します。

- Pro-Shift® レバー (B) 付きの製品の場合：



- ブレードピッチを上げるには、Pro-Shift® レバーをハンドルの方向に引き上げます。
- ブレードピッチを下げるには、Pro-Shift® レバーを押し下げます。

作業技術

フローティング作業によって、コンクリート面のへこみを除去します。フローティング作業は、必ずコンクリート面が十分硬くなってから行います。コンクリート面が十分硬い状態とは、コンクリート面に残る靴跡の深さが3 mm/0.12 インチ以下の場合を指します。

フローティング作業が完了すると、コンクリート面のコテ仕上げ作業の準備ができます。コテ仕上げ作業によって、コンクリート面の密度を高め、滑らかで硬くします。



注意： 作業中は、コンクリート面に石落ちていないか確認してください。石が落ちていたら、コンクリート面に簡単に除去できないような跡ができてしまうことがあります。

フローティング作業方法

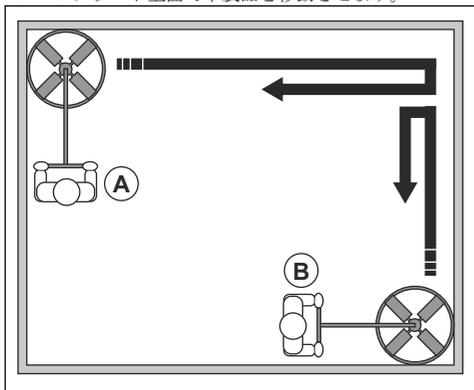
- スロットルコントロールを適した速度にします。



注意： 速度を高く設定しすぎないでください。生コンクリートの上では、回転

速度が速すぎると、表面に損傷を与えてしまうおそれがあります。コンクリートの硬化状況にあわせて、作業中に速度を調整します。

2. ブレードピッチケーブルに張力がかかるまで、ブレードピッチを調整します。参照：ブレードピッチの調整方法 13 ページ。
3. コンクリート全面で本製品を移動させます。

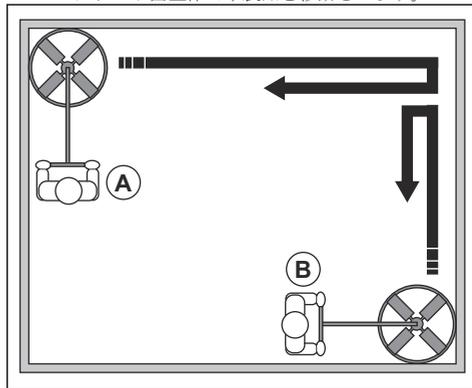


- a) コンクリート面全体で、片側から反対側に移動します (A)。反対方向に旋回する場合は、ブレードアセンブリ径の 1/2 のオーバーラップを行います。
 - b) コンクリート面全体で、垂直パターンで片側から反対側に移動します (B)。反対方向に旋回する場合は、ブレードアセンブリ径の 1/2 のオーバーラップを行います。
4. 本製品を停止し、コンクリート面から取り除きます。



注意： 本製品をコンクリート面に静止したまま放置しないでください。コンクリート面に跡や損傷が生じる可能性があります。本製品が停止したら、ただちに製品をコンクリート面から持ち上げます。

3. コンクリート面全体で本製品を移動させます。

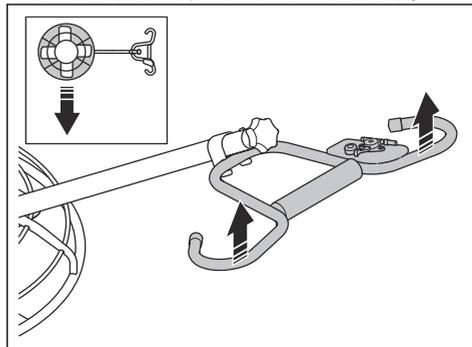


- a) スロットルコントロールを表面の状態に応じた速度に調整します。速度が速すぎると、表面に損傷を与えてしまうおそれがあります。
 - b) 作業中、必要に応じてブレードピッチを調整してコンクリート面にかかる圧力を上げてください。
 - c) コンクリート面全体で、片側から反対側に移動します (A)。反対方向に旋回する場合は、ブレードアセンブリ径の 1/2 のオーバーラップを行います。
 - d) コンクリート面全体で、垂直パターンで片側から反対側に移動します (B)。反対方向に旋回する場合は、ブレードアセンブリ径の 1/2 のオーバーラップを行います。
4. 本製品を停止し、コンクリート面から取り除きます。
 5. コンクリートが十分に硬化するまで待ちます。
 6. コンクリート面の仕上げが十分で、完全に硬化するまで、手順を繰り返します。

注記： コテ仕上げ作業の間隔は、コンクリートが硬化する速度から計算します。

本製品を別の方向に動かす方法

- 左に旋回するには、ハンドルを持ち上げます。



コテ仕上げ作業方法

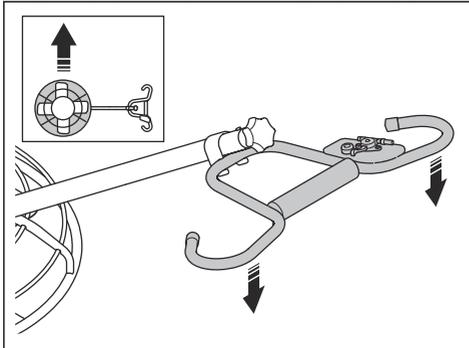
1. スロットルコントロールを適した速度にします。



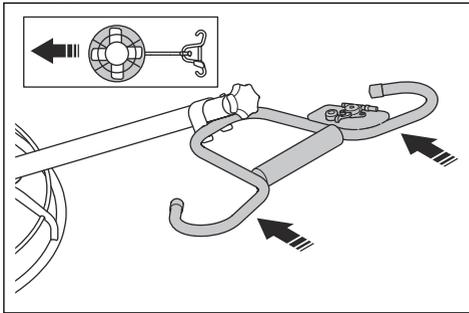
注意： 速度を高く設定しすぎないでください。生コンクリートの上では、回転速度が速すぎると、表面に損傷を与えてしまうおそれがあります。コンクリートの硬化状況にあわせて、作業中に速度を調整します。

2. ブレードピッチケーブルに張力がかかるまで、ブレードピッチを調整します。参照：ブレードピッチの調整方法 13 ページ。

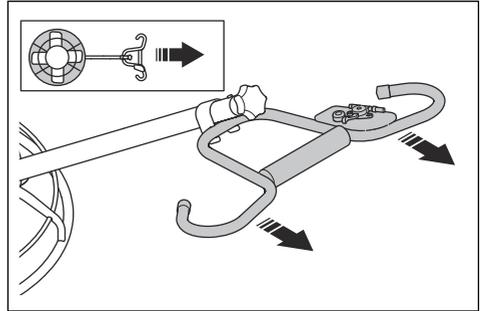
- 右に旋回するには、ハンドルを押し下げます。



- 本製品を前方に動かすには、ハンドルを前方に押しします。



- 本製品を後方に動かすには、ハンドルを後方に引きます。



本製品の停止方法

1. スロットルコントロールをアイドリング速度位置に動かします。
2. エンジンの STOP (停止) ボタンを押します。参照：製品の概要 2 ページ。
3. エンジンの ON/OFF スイッチを OFF 位置にします。
4. 燃料バルブを OFF 位置にします。

メンテナンス

はじめに



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、安全に関する章を読んで理解してください。



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、本製品を停止し、すべての部品が冷えていることを確認してください。参照：本製品の停止方法 15 ページ。

本製品を平らな面に移動します。

本製品のすべての整備と修理作業には、特別な訓練が必要です。プロフェッショナルによる修理と整備を利用

きます。お客様の販売店がサービス代理店でない場合は、最寄りのサービス代理店に関する情報をお問い合わせください。

スベアパーツについては、Husqvarna の販売店またはサービス代理店にお問い合わせください。

メンテナンスのスケジュール

* = 作業者が行う通常のメンテナンス。この取扱説明書には説明がありません。

X = この取扱説明書に説明があります。

O = 詳細については、エンジンの取扱説明書を参照してください。

| メンテナンス | 使用前、10時間ごと | 最初の 20 時間経過後 | 毎月、200 時間ごと | 毎年、500 時間ごと |
|-----------------------------|------------|--------------|-------------|-------------|
| 燃料またはオイルが漏れていないことを確認してください。 | * | | | |
| 製品を清掃します。 | X | | | |

| メンテナンス | 使用前、10時間ごと | 最初の20時間経過後 | 毎月、200時間ごと | 毎年、500時間ごと |
|---|------------|------------|------------|------------|
| ナットとネジが締められていることを確認します。 | * | | | |
| 燃料面とエンジンオイル面を点検します。 | X | | | |
| エンジンの冷却フィンを清掃します。 | O | | | O |
| スロットルコントロールとブレードピッチノブまたはPro-Shift® レバーがスムーズに動くことを確認します。 | * | | | |
| エアフィルターを清掃します。 | X | X | | |
| ブレードシャフトに注油します。 | X | X | | |
| 本製品のブレードピッチケーブルおよびその他の部品に注油します。 | | | * | |
| エンジンオイルを交換します。 | | X | X | X |
| エアフィルターを交換します。 | | | | X |
| エンジン速度を点検します。 | | O | O | |
| ギアボックスの油面を点検します。 | | | X | X |
| ベルトに損傷がないかを点検し、必要に応じて交換します。 | | | X | |
| スパークプラグを点検して清掃します。必要に応じてスパークプラグを交換します。 | | | O | |
| キャブレターの燃料バルブを清掃します。 | | | O | |
| マフラーのスパーク防止ネットを清掃します。 | | | O | |
| 堆積物容器を清掃します。 | | | O | |
| 燃料を抜き取り、燃料タンクと燃料フィルターを清掃します。 | | | | O |
| キャブレターを清掃し、調整します。 | | | | O |

本製品の清掃



注意： 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。

- 水とブラシを使用して本製品を清掃します。



注意： 燃料タンクキャップ、電気部品、またはエンジンに水を直接かけないでください。

- コンクリートが硬くなる前に、各操作の後に本製品の表面からコンクリートを取り除きます。
- ハンドルからグリースとオイルを取り除きます。

エンジンオイル面の点検

1. オイルタンクキャップとオイルレベルゲージを取り外します。
2. オイルレベルゲージのオイルを拭き取ります。

3. オイルレベルゲージをオイルタンクに完全に戻します。
4. オイルレベルゲージを外します。
5. オイルレベルゲージで油面を点検します。
6. 油面が低すぎる場合は、エンジンオイルを充填し、もう一度油面をチェックします。参照：主要諸元25ページまたは適切なタイプのオイルについては、エンジンの取扱説明書。

エンジンオイルの交換

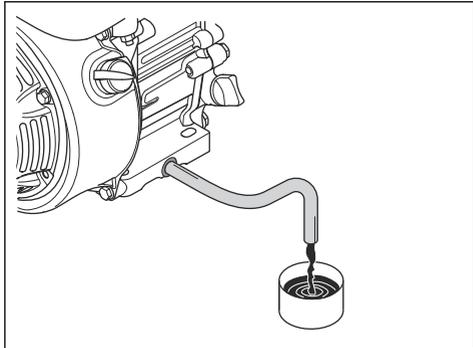
エンジンが冷めていたら、エンジンを始動して1~2分経ってからエンジンオイルを排出します。これにより、エンジンオイルが温まって排出しやすくなります。



警告： エンジンの停止直後は、エンジンオイルは非常に高温になっています。エンジンオイルを排出する前に、エンジンが冷えていることを確認してください。エンジン

オイルが皮膚に触れた場合は、石鹸と水で洗ってください。

1. 排油ホースをホルダから緩めます。
2. 排油ホースの下に容器を置きます。



3. 排油ホースの端からプラグを取り外します。
4. 本製品を傾けて、オイルを容器に排出します。
5. 排油ホースにプラグを取り付けます。
6. 排油ホースをホルダに取り付けます。
7. 新しいエンジンオイルを充填します。参照：主要諸元 25 ページまたは適切なタイプのオイルについては、エンジンの取扱説明書。
8. エンジンオイルの油面を点検します。

エアフィルター



警告： エアフィルターを清掃または交換する場合は、認可された呼吸器保護具を使用してください。使用済みのエアフィルターは適切に廃棄してください。エアフィルター内の粉塵を吸い込むと、健康障害の原因となる可能性があります。



注意： 破損したエアフィルターは必ず交換してください。そのままにしておくと粉塵がエンジンに混入して、エンジンが損傷します。

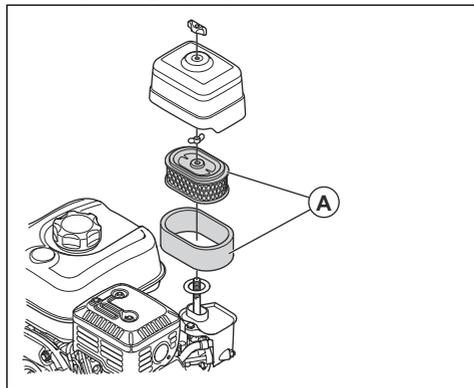
エアフィルターの清掃または交換方法



警告： 圧縮空気ではエアフィルターを清掃しないでください。これらの残留物はエアフィルターが損傷する原因となり、また危険な粉塵を吸い込む危険性も高まります。

1. エアフィルターカバーのノブを緩めて、エアフィルターカバーを取り外します。

2. 紙フィルターエレメントとフォームフィルターエレメント (A) を取り外します。



3. エアフィルターハウジングをブラシで清掃します。
4. エアフィルターに損傷がないことを確認します。
5. 紙フィルターエレメントを硬い面に軽く叩きつけるか、掃除機で粒子を除去します。



注意： 掃除機のノズルが紙フィルターエレメントの表面に触れないように注意してください。ある程度の間隔を維持するようにします。紙フィルターエレメントの表面は傷つきやすく、物に当たると損傷します。

6. 石鹸水でフォームフィルターエレメントを清掃します。
7. きれいな水でフォームフィルターエレメントを洗い流します。
8. フォームフィルターエレメントを圧縮して水を取り除き、フォームフィルターエレメントを完全に乾かします。
9. フォームフィルターエレメントにエンジンオイルを注油します。
10. 清潔な布で、フォームフィルターエレメントの不要なオイルを拭き取ります。
11. 逆の順序でエアフィルターを取り付けます。

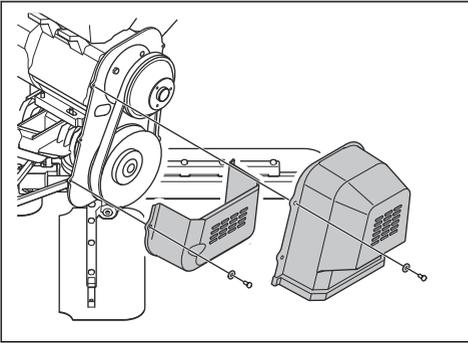
ベルトの交換方法



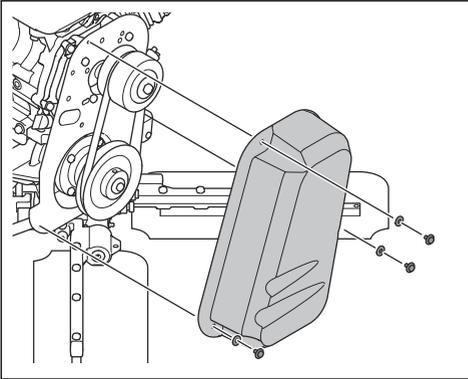
警告： ベルトカバーが取り付けられていない状態で本製品を操作しないでください。

1. エンジンを停止し、スパークプラグケーブルの接続を外します。
2. ベルトカバーを固定しているネジとワッシャーを取り外します。ベルトカバーを外します。

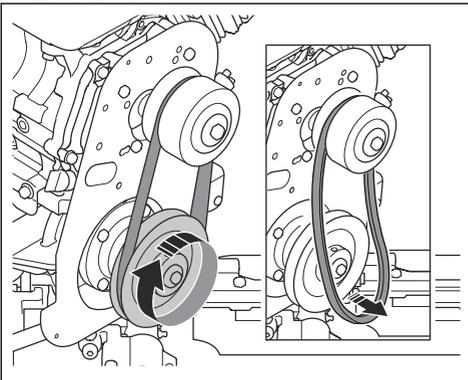
a) A-V モデル :



b) その他のすべてのモデル :



3. プーリからベルトを外しながら、ゆっくりとプーリを回転させます。



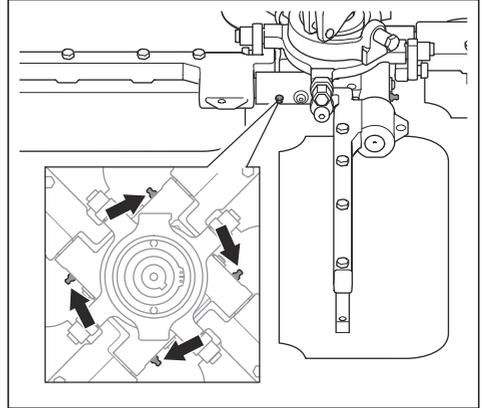
注意： ベルトを交換するときは、クラッチやプーリを取り外さないでください。クラッチとプーリは工場で調整されています。

4. 新品のベルトを取り付けます。

5. ベルトカバー、ワッシャー、およびネジを取り付けます。ネジを 5 Nm/3.7 lb-ft のトルクで締め付けます。

ブレードシャフトの注油方法

- グリースがブレードシャフトの周囲から出るまで、グリースニップルにグリースを押し込みます。参照：主要諸元 25 ページ。



ブレードの交換

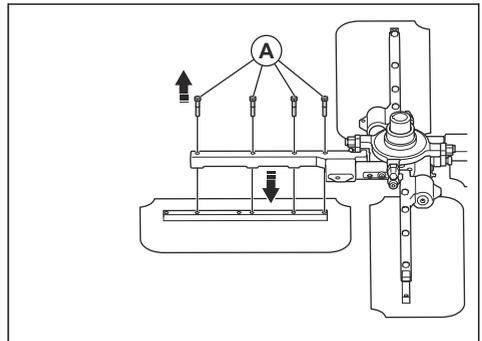


警告： ブレードを交換する前に本製品を停止し、エンジンが冷えていることを確認してから、スパークプラグケーブルを取り外します。



警告： 保護グローブを着用してください。

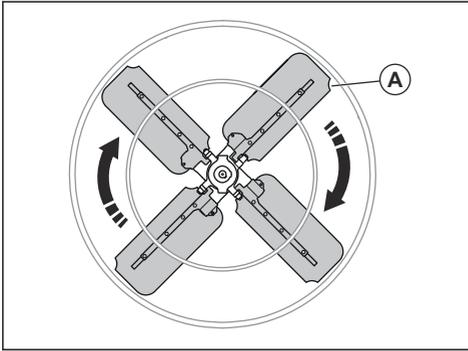
1. ネジ (A) を緩め、ブレードを取り外します。



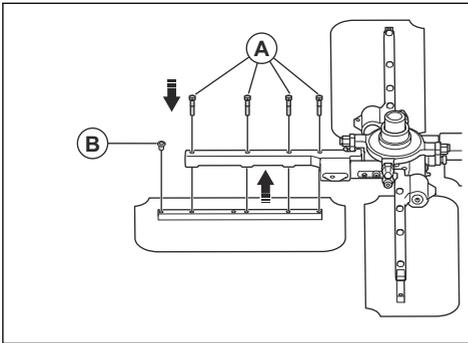
2. ネジのネジ山にグリースを塗布しておくこと、次回ネジを簡単に取り外すことができます。

3. 新品のブレードを取り付けます。

- a) 図に示すように、ブレードが回転方向に対して正しい位置に取り付けられていることを確認します。



- b) ワッシャーとグリスを塗布したネジ (A) を使用してブレードを取り付けます。ネジを 26 Nm/19 lb-ft のトルクで締め付けます。



4. ブレードの残りの穴にプラスチックプラグ (B) を差し込みます。これは、作業中に穴にコンクリートが入り込まないようにするためです。

ギアボックス

油面の点検以外は、ギアボックスの定期メンテナンスを行う必要はありません。ギアボックスに漏れやその他の問題がある場合は、認定サービスセンターに本製品の修理を依頼してください。

ギアボックスの油面の点検方法

1. 本製品を水平面に置きます。
2. ギアボックス側のプラグを点検します。油面がプラグのネジ山の下部にある場合は正常です。
3. 油面が低すぎる場合は、適切なレベルまでオイルを充填します。参照： **主要諸元 25** ページ推奨されるオイルの種類については。

トラブルシューティング

| 問題 | 原因 | 解決策 |
|-------------------------|--|-------------------------------------|
| 製品が始動しない。 | 燃料タンクが空です。 | 燃料タンクを充填します。 |
| | エンジン供給燃料が汚れています。 | キャブレターを清掃します。 |
| | エンジンの ON/OFF スイッチが OFF 位置になっています。 | エンジン ON/OFF スイッチを ON 位置にします。 |
| | 燃料バルブが閉じています。 | 燃料バルブを開きます。 |
| | エンジンにオイルがありません。 | エンジンオイルを充填します。 |
| | 燃料フィルターまたは燃料ホースが詰まっています。 | 燃料フィルターと燃料ホースを清掃します。 |
| | 燃料ホースが損傷しています。 | 認定サービスセンターに燃料ホースの交換を依頼してください。 |
| | エンジン ON/OFF スイッチ、ジャイロスコープスイッチ、低オイルレベルスイッチまたはリレー、ワイヤーまたはコネクタが損傷しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | エンジンが冷えています。 | チョークを閉じます。 |
| | エンジンが損傷しています。 | エンジンの取扱説明書を参照してください。 |
| 本製品は始動するが、エンジン速度が上がらない。 | スロットルケーブルが損傷しています。 | 認定サービスセンターにスロットルケーブルの交換を依頼してください。 |
| | スロットルコントロールおよびコネクタが緩んでいるか、正しく調整されていません。 | 認定サービスセンターにスロットルコントロールの修理を依頼してください。 |
| | クラッチシューが摩耗しています。 | 認定サービスセンターにクラッチシューの交換を依頼してください。 |
| | エンジンが損傷しています。 | エンジンの取扱説明書を参照してください。 |
| 本製品が高速で始動し、速度を下げるができない。 | スロットルケーブルが損傷しています。 | 認定サービスセンターにスロットルケーブルの交換を依頼してください。 |
| | スロットルコントロールおよびコネクタが緩んでいるか、正しく調整されていません。 | 認定サービスセンターにスロットルコントロールの修理を依頼してください。 |
| | エンジンが損傷しています。 | エンジンの取扱説明書を参照してください。 |
| エンジンが停止しない。 | エンジン ON/OFF スイッチ、ジャイロスコープスイッチ、低オイルレベルスイッチまたはリレー、ワイヤーまたはコネクタが損傷しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | エンジンが損傷しています。 | エンジンの取扱説明書を参照してください。 |

| 問題 | 原因 | 解決策 |
|------------------------------|--------------------------------------|--|
| ブレードが回転しないか、回転速度が遅する。 | ベルトが損傷しています。 | ベルトを交換します。純正の Husqvarna スペアパーツのみ使用してください。 |
| | ベルトタイプが不適切です。 | ベルトを交換します。純正の Husqvarna スペアパーツのみ使用してください。 |
| | 摩擦が低すぎるため、ブレードブレイキがかかります。 | 本製品は、十分硬化したコンクリートの上でのみ使用してください。 |
| | クラッチが損傷しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | プーリが損傷しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | ブレードリフトリングのベ어링が損傷しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | ギアボックスが損傷しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| エンジンがアイドリング状態のときに、ブレードが回転する。 | アイドリング速度が速すぎます。 | エンジンの取扱説明書を参照してください。 |
| | ベルトタイプが不適切です。 | ベルトを交換します。純正の Husqvarna スペアパーツのみ使用してください。 |
| | クラッチが損傷しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | プーリの位置が正しくありません。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| ブレードがスムーズに回転しない。 | エンジンが冷えています。 | 本製品を操作する前に、2～3分間アイドリング速度でエンジンを作動させます。 |
| | エンジンスピードが遅すぎます。 | エンジン速度をフルロットルまで上げます。 |
| | フローティングディスクを使用するには、コンクリートの含水量が多すぎます。 | もう少しコンクリートを乾燥させてから本製品を操作してください。 |
| | エンジンが損傷しています。 | エンジンの取扱説明書を参照してください。 |
| | ギアボックスが損傷しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| ブレードの摩擦が不均一であったり、本製品が揺れたりする。 | 1つ以上のブレードが曲がっているか、損傷しています。 | 破損したブレードは交換してください。 |
| | 1つ以上のブレードアームがハブ内で正しく動作しません。 | ブレードアームを取り外します。すべての接触面を清掃して注油します。問題が解決しない場合は、認定サービスセンターに本製品の修理を依頼してください。 |
| | ブレードシャフトが曲がっています。 | ブレードシャフトを交換します。純正の Husqvarna スペアパーツのみ使用してください。 |
| | 偏心アジャスタが正しくセットされていません。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | ギアボックスのメインシャフトが曲がっています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |

| 問題 | 原因 | 解決策 |
|-------------------------------------|---|--|
| ブレードピッチシステムが正しく動作しない。 | ブレードピッチケーブルが破損しているか、正しく調整されていません。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | 1つ以上のブレードがハブ内で正しく動作していません。 | ブレードを外します。すべての接触面を清掃して注油します。 |
| | ハンドル後部のスロットネジが欠落しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | ブレードリフトリングおよび/またはヨークアームが破損しているか、かなり摩耗しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | ハンドルバーのブレードピッチコントロールが損傷しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| ベルトの摩耗が速すぎる。 | プーリーの位置が正しくありません。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | ベルトが損傷しているか、タイプが正しくありません。 | ベルトを交換します。純正の Husqvarna スペアパーツのみ使用してください。 |
| | クラッチが損傷しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | ギアボックスが損傷しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| ギアボックス上部にオイル漏れがある。 | ギアボックスシールが摩耗しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | エンジンに漏れがあります。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | ギアボックスのオイルが多すぎます。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| ギアボックスのメインシャフトまたはカウンタシャフトにオイル漏れがある。 | シャフトおよび/またはシールが摩耗しています。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| | ネジが緩んでいます。 | 認定サービスセンターに修理を依頼してください。 |

搬送、保管、廃棄

搬送



警告： 搬送時には注意してください。本製品は重いため、搬送中に転倒したり動き出したりすると、負傷や器物の損傷に至るおそれがあります。



警告： オプションのフローティングディスクが取り付けられている場合は、輸送前に取り外してください。フローティングディスクが落下し、怪我や損傷を引き起こすおそれがあります。

短距離であれば、本製品を持ち上げて動かしてください。長距離の場合は、搬送車両に本製品を載せてください。

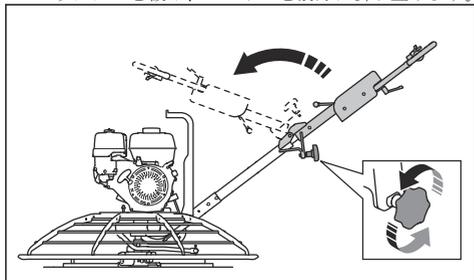
ハンドルを搬送用形態に折り畳む方法



注意： ブレードピッチを完全に下げたから、ハンドルを折り畳んでください。ブレードピッチを下げないと、ブレードピッチケーブルとブレードピッチコントロールが損傷するおそれがあります。

注記： ハンドルは、すべてのモデルで折り畳むことができるわけではありません。

- ロックノブを緩め、ハンドルを前方に折り畳みます。



リフト装置を使用して本製品を持ち上げる方法



警告： リフト装置には十分な寸法があることを確認します。本製品の質量は銘板に表示されています。

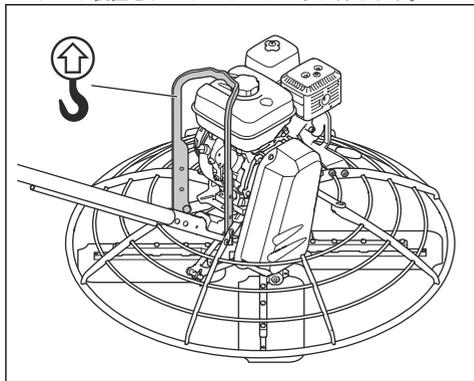


警告： 損傷した製品は持ち上げないでください。リフトブラケットが正しく取り付けられており、損傷がないことを確認します。



警告： 持ち上げた本製品の下面や周辺では、歩行したり立ち止まったりしないでください。

- リフト装置をリフトポイントに取り付けます。



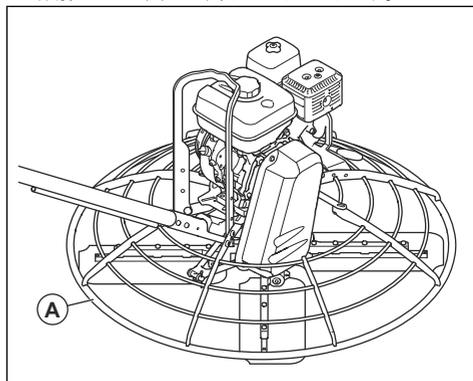
警告： 面の粗い金属製フック、チェーン、その他のリフト装置を使用しないでください。リフトポイントが損傷するおそれがあります。

本製品を手で持ち上げる方法



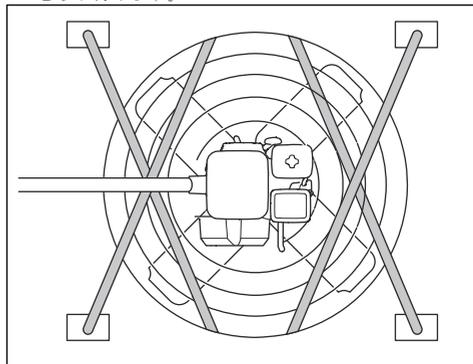
警告： 重量物の持ち上げは、怪我の原因になります。1名あたりの推奨最大重量は25 kgです。参照：主要諸元 25 ページまたは、製品重量に関する情報については、本製品の銘板をお読みください。

- 安全に本製品を持ち上げるために必要な人数を確保してください。
- 持ち上げる重量が均一になるようにします。
- 保護リング (A) で本製品を持ち上げます。



本製品を搬送車両に固定用ストラップで固定する方法

1. ブレードが水平になり、ブレードピッチケーブルが緩むまで、ブレードピッチノブを反時計方向に回します。
2. 本製品を搬送車両に持ち上げて載せます。ハンドルが搬送車両からはみ出していないことを確認します。
3. 保護リングと搬送車両の表面の間に木片などを置きます。これにより、ブレードの損傷を防ぐことができます。
4. 保護リングと車両の間に交差状に固定用ストラップを取り付けます。



- a) ギアボックスアウトプットシャフトの損傷を防ぐため、保護リングの下部に固定用ストラップを取り付けます。
- b) 固定用ストラップを締めすぎないでください。

保管

- 保管前に本製品を清掃してください。
- 本製品は、乾燥した霜の降らない場所に保管してください。
- 本製品は鍵のかかる場所に保管して、子供や許可を得ていない人が近づけないようにしてください。
- 本製品を長期間、保管する場合は、燃料タンクから燃料をすべて取り出してください。燃料は適切な廃棄場所に廃棄してください。
- 燃料タンクから燃料を排出後に、エンジンを始動します。キャブレター内に燃料が残っていない状態になるまでエンジンを作動させてから、エンジンを停止します。

廃棄

- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- すべての化学物質（エンジンオイルや燃料など）はサービスセンターまたは適切な廃棄場所に廃棄してください。
- 本製品が不要になった場合は、**Husqvarna** 販売店に送付するか、リサイクル施設で廃棄してください。

主要諸元

主要諸元、CT 36A/A-V

| | CT 36-5A T/ADJ-T/FOLD ADJ-T/ADJ-P | CT 36-8A ADJ-T/ADJ-P | CT 36-8A-V ADJ-T/ADJ-P |
|----------------------------------|--|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 燃料タンクが空の場合の重量 (kg/lb) | 85/183 | 94/208 | 94/208 |
| エンジンのブランド、タイプ | ホンダ、GX 160 | ホンダ、GX 240 | ホンダ、GX 240 |
| エンジン出力、kW/hp @r/min ¹ | 3.6/4.8 @3600 | 5.9/7.9 @3600 | 5.9/7.9 @3600 |
| アイドリング速度、r/min | 1400 ±100 | 1400 ±100 | 1400 ±100 |
| ブレードの速度、r/min | 60–125 | 60–125 | 25–200 |
| ブレードピッチ、° | 0–30 | 0–30 | 0–30 |
| クラッチ締結、r/min | 1850 | 1850 | 2000 |
| クラッチタイプ | 遠心クラッチ | 遠心クラッチ | CVT |
| ハンドルのタイプ | T : 調整不可 ADJ-T/ADJ-P : 高さ調整可能ハンドル FOLD ADJ-T : 折りたたみ式、高さ調節可能ハンドル | 高さ調整可能ハンドル | 高さ調整可能ハンドル |
| ブレードピッチ調整のタイプ | T : ツイストピッチ P : Pro-Shift® | T : ツイストピッチ P : Pro-Shift® | T : ツイストピッチ P : Pro-Shift® |
| ブレードアームのタイプ | ボルトオン式 | ボルトオン式 | ボルトオン式 |
| ブレードの数 | 4 | 4 | 4 |
| 燃料タンクの容量、l/qts | 3.1/3.3 | 5.3/5.6 | 5.3/5.6 |
| オイルタンクの容量、l/qts | 0.6/0.63 | 0.6/0.63 | 0.6/0.63 |
| 燃料消費量、l/h または qts/h | 1.4 または 1.5 | 2.2 または 2.3 | 2.2 または 2.3 |
| ギアボックスオイル容量、l/qts | 0.62/0.66 | 0.62/0.66 | 0.62/0.66 |
| 燃料 | 無鉛ガソリン、エタノール最大 10 % | 無鉛ガソリン、エタノール最大 10 % | 無鉛ガソリン、エタノール最大 10 % |

¹ メーカー指定の値。表示エンジンの電気定格は、(指定 r/min での) 平均実質電気出力で、SAE 基準 J1349/ISO1585 で測定したエンジンモデル向けの一般生産エンジンに対応しています。大量生産用エンジンは、この値と異なることがあります。最終製品に据え付けたエンジンの実際の電気出力は、運転スピード、環境状態およびその他の値によって異なります。

| | CT 36-5A T/ADJ-T/FOLD ADJ-T/ADJ-P | CT 36-8A ADJ-T/ADJ-P | CT 36-8A-V ADJ-T/ADJ-P |
|-----------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| エンジンオイル | SAE 10W-30、API Class SG または SF | SAE 10W-30、API Class SG または SF | SAE 10W-30、API Class SG または SF |
| ブレードシャフトおよびブレードピッチケーブルのグリース | Shell Gadus S2 または同等 品 | Shell Gadus S2 または同等 品 | Shell Gadus S2 または同等 品 |
| ギアボックスオイル | ISO 460 ギアオイル | ISO 460 ギアオイル | ISO 460 ギアオイル |

エンジン固有の詳細情報や不明な点については、エンジンの取扱説明書またはエンジンメーカーのウェブサイトをご参照してください。

| 騒音排出 | CT 36-5A | CT 36-8A | CT 36-8A-V |
|---------------------------------------|----------|----------|------------|
| 実測音響レベル L_w 測定、dB (A) 相対 $1pW^2$ | 103 | 109 | 109 |
| 作業者曝露音圧レベル L_p 、dB (A) ³ | 89 | 95 | 95 |

| 振動レベル ⁴ | CT 36-5A | CT 36-8A | CT 36-8A-V |
|-----------------------------|----------|----------|------------|
| 振動、3 軸値、レベル a_n 、 m/s^2 | 5.0 | 4.3 | 4.0 |

主要諸元、CT 48A/A-V

| | CT 48-8A T/ADJ-T/ADJ-P | CT 48-13A ADJ-P | CT 48-13A-V ADJ-T/ADJ-P |
|----------------------------------|------------------------|-----------------|-------------------------|
| 燃料タンクが空の場合の重量 (kg/lb) | 105/231 | 113/249 | 121/266 |
| エンジンのブランド、タイプ | ホンダ、GX 240 | ホンダ、GX 390 | ホンダ、GX 390 |
| エンジン出力、kW/hp @r/min ⁵ | 5.9/7.9 @3600 | 8.7/11.7 @3600 | 8.7/11.7 @3600 |
| アイドリング速度、r/min | 1400 ±100 | 1400 ±100 | 1400 ±100 |
| ブレードの速度、r/min | 60-125 | 60-125 | 25-200 |
| ブレードピッチ、° | 0-30 | 0-30 | 0-30 |
| クラッチ締結、r/min | 1850 | 1850 | 2000 |

² EN 12649、EN ISO 3744 に基づく実測音響レベル L_w 不確定性 K_{WA} 2.5 dB (A)。

³ EN 12649、EN ISO 6081 に基づく実測音圧レベル L_p 不確定性 K_{pA} 2.5 dB (A)。

⁴ EN 12649 に基づく測定振動値。報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は、 $1.5 m/s^2$ です。

⁵ メーカー指定の値。表示エンジンの電気定格は、(指定 r/min での) 平均実質電気出力で、SAE 基準 J1349/ISO 1585 で測定したエンジンモデル向けの一般生産エンジンに対応しています。大量生産用エンジンは、この値と異なることがあります。最終製品に据え付けたエンジンの実際の電気出力は、運転スピード、環境状態およびその他の値によって異なります。

| | CT 48-8A T/ADJ-T/ADJ-P | CT 48-13A ADJ-P | CT 48-13A-V ADJ-T/ADJ-P |
|-----------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| クラッチタイプ | 遠心クラッチ | 遠心クラッチ | CVT |
| ハンドルのタイプ | T : 調整不可 ADJ-T/ADJ-P : 高さ調整可能ハンドル | 高さ調整可能ハンドル | 高さ調整可能ハンドル |
| ブレードピッチ調整のタイプ | T : ツイストピッチ P : Pro-Shift® | Pro-Shift® | T : ツイストピッチ P : Pro-Shift® |
| ブレードアームのタイプ | ボルトオン式 | ボルトオン式 | ボルトオン式 |
| ブレードの数 | 4 | 4 | 4 |
| 燃料タンクの容量、l/qts | 5.3/5.6 | 6.1/6.4 | 6.1/6.4 |
| オイルタンクの容量、l/qts | 0.6/0.63 | 1.1/1.16 | 1.1/1.16 |
| 燃料消費量、l/h または qts/h | 2.2 または 2.3 | 3.5 または 3.7 | 3.5 または 3.7 |
| ギアボックスオイル容量、l/qts | 0.62/0.66 | 0.62/0.66 | 0.62/0.66 |
| 燃料 | 無鉛ガソリン、エタノール最大 10 % | 無鉛ガソリン、エタノール最大 10 % | 無鉛ガソリン、エタノール最大 10 % |
| エンジンオイル | SAE 10W-30、API Class SG または SF | SAE 10W-30、API Class SG または SF | SAE 10W-30、API Class SG または SF |
| ブレードシャフトおよびブレードピッチケーブルのグリース | Shell Gadus S2 または同等品 | Shell Gadus S2 または同等品 | Shell Gadus S2 または同等品 |
| ギアボックスオイル | ISO 460 ギアオイル | ISO 460 ギアオイル | ISO 460 ギアオイル |

エンジン固有の詳細情報や不明な点については、エンジンの取扱説明書またはエンジンメーカーのウェブサイトをご参照してください。

| 騒音排出 | CT 48-8A | CT 48-11A | CT 48-13A-V |
|---|----------|-----------|-------------|
| 実測音響レベル L_w 測定、dB (A) 相対 1pW ⁶ | 109 | 113 | 115 |
| 作業者曝露音圧レベル L_p 、dB (A) ⁷ | 95 | 96 | 98 |

| 振動レベル ⁸ | CT 48-8A | CT 48-11A | CT 48-13A-V |
|-------------------------------------|----------|-----------|-------------|
| 振動、3 軸値、レベル a_h 、m/s ² | 3.1 | 4.1 | 4.1 |

⁶ EN 12649、EN ISO 3744 に基づく実測音響レベル L_w 不確定性 K_{WA} 2.5 dB (A)。

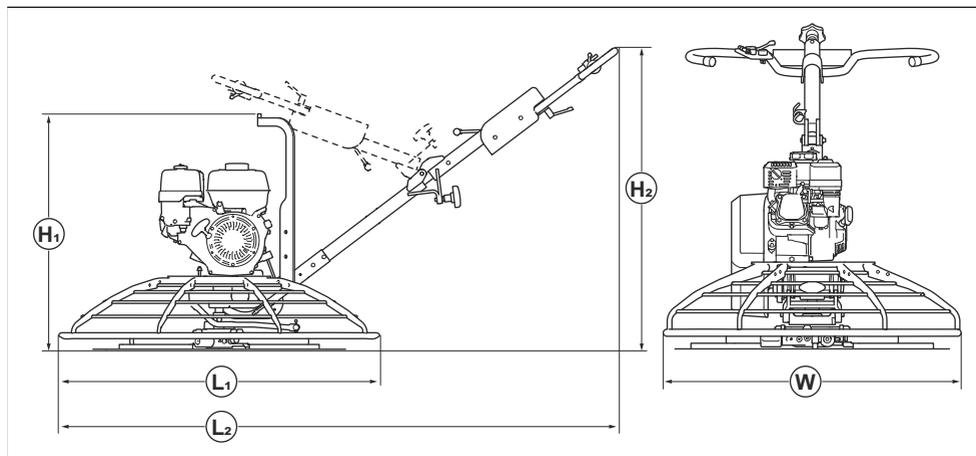
⁷ EN 12649、EN ISO 6081 に基づく実測音圧レベル L_p 不確定性 K_{pA} 2.5 dB (A)。

⁸ EN 12649 に基づく測定振動値。報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は、1.5 m/s² です。

騒音と振動についての公表値

これらの公表値は、指定された指令または標準に基づいた実験室での型式試験で取得されたものであり、同じ指令または標準に基づいて試験された他の製品の公表値との比較に適したものです。これらの公表値はリスク評価での使用には適しておらず、また個々の作業現場での測定値はより高くなる可能性があります。個々のユーザーが実際に暴露される値および危害のリスクは、ユーザーが行う作業、製品で処理する素材、ユーザーの暴露時間、ユーザーの健康状態、および製品の状態によって異なります。

製品の寸法



| 機種 | ハンドルなし | ハンドルあり |
|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| | $L_1 \times W \times H_1$ mm/インチ。 | $L_2 \times W \times H_2$ mm/インチ。 |
| CT 36-5A 調整可能 T 型ハンドル | 943 × 943 × 748/37 × 37 × 29 | 2038 × 943 × 1004/80 × 37 × 40 |
| CT 36-5A 調整可能 P 型ハンドル | 943 × 943 × 748/37 × 37 × 29 | 2038 × 943 × 973/80 × 37 × 38 |
| CT 36-8A、CT 36-8A-V 調整可能 T 型ハンドル | 943 × 943 × 748/37 × 37 × 29 | 2038 × 943 × 1004/80 × 37 × 40 |
| CT 36-8A、CT 36-8A-V 調整可能 P 型ハンドル | 943 × 943 × 748/37 × 37 × 29 | 2038 × 943 × 973/80 × 37 × 38 |
| CT 48-8A 調整可能 T 型ハンドル | 1206 × 1206 × 799/47 × 47 × 31 | 2170 × 1206 × 1024/85 × 47 × 40 |
| CT 48-8A 調整可能 P 型ハンドル | 1206 × 1206 × 799/47 × 47 × 31 | 2170 × 1206 × 990/85 × 47 × 39 |
| CT 48-13A-V 調整可能 T 型ハンドル | 1206 × 1206 × 799/47 × 47 × 31 | 2160 × 1220 × 1040/85 × 48 × 41 |
| CT 48-13A-V 調整可能 P 型ハンドル | 1206 × 1206 × 799/47 × 47 × 31 | 2170 × 1206 × 990/85 × 47 × 39 |

アクセサリ

| ブレードの種類 | 用途 | 名称 |
|--------------|-------------------|---|
| フローティングディスク | フローティング作業 | <ul style="list-style-type: none">フラット。仕上げブレードまたはコンビネーションブレードに取り付けられています。 |
| フローティングブレード | フローティング作業 | <ul style="list-style-type: none">フラットで、ブレードピッチはありません。仕上げブレードまたはコンビネーションブレードに取り付けられています。 |
| コンビネーションブレード | フローティング作業とコテ仕上げ作業 | <ul style="list-style-type: none">他のブレードタイプに代わるものです。仕上げブレードまたはフローティングブレードとは併用できません。 |
| 仕上げブレード | コテ仕上げ作業 | <ul style="list-style-type: none">小から最大のブレードピッチ。対称、すべてのエッジでフラット。 |

適合宣言

EU 適合宣言

ハスクバーナ社 (Husqvarna AB, SE-561 82 Huskvarna, Sweden、電話番号：+46-36-146500 は、単独責任のもとで、以下の製品の適合を宣言します。

| | |
|---------|--|
| 名称 | コンクリート平滑化機、トロウエル |
| ブランド | Husqvarna |
| タイプ/モデル | CT 36-5A, CT 36-8A, CT 36-8A-V, CT 48-8A, CT 48-13A, CT 48-13A-V |
| ID | 2022 年以降の製造番号 |

が以下の EU 指令および規制を完全に順守し、

| 指令/規制 | 名称 |
|------------|---------------|
| 2006/42/EC | 「機械類に関する」 |
| 2014/30/EU | 「電磁環境適合性に関する」 |

以下の統一された規格および/または技術仕様が適用されていることを当社単独の責任で宣言します。

EN ISO 12100:2010

EN 12649:2008+A1:2011

Partille, 2022-05-16



Martin Huber

コンクリートおよび床面研究開発責任者

Husqvarna AB, Construction Division

技術文書担当





www.husqvarnaconstruction.com

取扱説明書原本



1142155-79



2023-02-24